

# 江の川流域の概要



- 中国山地を貫流し、広島・島根の2県をまたぐ中国地方最大の河川（別名「中国太郎」）。上流の三次市街地部で、直轄3河川が合流する。
- 河口の狭小な沖積平野（江津市街地）と上流盆地（三次市街地）に人口資産が集中。中下流の山間狭窄部は河岸段丘に小集落が点在する。

## 流域の概要



## 流域図

・流域面積は広島県が2,640km<sup>2</sup>、島根県が半分以下の1,260km<sup>2</sup>  
 ・島根県側で降雨が少なくても、広島県側で降った雨によって中下流部で氾濫を起こすことがある。



## 中流部(山間狭窄部)



## 上流部(三川合流部)

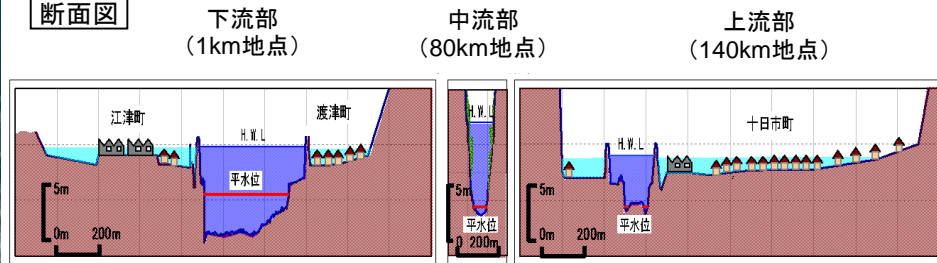


流域面積(集水面積) : 3,900km<sup>2</sup>  
 幹川流路延長 : 194km  
 流域内人口 : 約19万人  
 想定氾濫区域面積 : 105km<sup>2</sup>  
 想定氾濫区域内人口 : 約5万人  
 想定氾濫区域内資産額 : 約1兆2,523億円  
 主な市町  
 : 島根県江津市、川本町、美郷町、邑南町  
 広島県三次市、安芸高田市、庄原市  
 ※河川現況調査(H22基準)より

## 河口部



## 断面図



# 江の川 過去の洪水被害

- 江の川流域では、これまで水害による被害を引き起こしてきました。戦後発生した主要な水害は昭和20年9月の枕崎台風、昭和40年6月、7月洪水、昭和47年7月の梅雨前線による洪水があります。中でも昭和47年7月の洪水は大災害となり戦後最大の規模となりました。
- その後、昭和58年7月洪水、平成30年7月洪水、令和2年7月洪水及び令和3年8月洪水においても浸水被害が発生しています。

洪水発生年	原因	江津(川平)		尾関山		被害状況 (暫定値を含む)
		2日雨量(mm)	流量(m <sup>3</sup> /s)	2日雨量(mm)	流量(m <sup>3</sup> /s)	
昭和47年7月12日	梅雨	362	約10,200	346	約6,900	家屋全半壊・一部破損: 3,960戸 床上浸水: 6,202戸、床下浸水: 7,861戸
昭和58年7月23日	前線	202	約7,500	158	約4,600	家屋全半壊・一部破損: 206戸 床上浸水: 1,115戸、床下浸水: 2,402戸
平成18年7月19日	梅雨	177	約6,700	149	約3,400	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 8戸、床下浸水: 145戸
平成30年7月6日	前線	313	約8,800	348	約6,400	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 340戸、床下浸水: 210戸
令和2年7月14日	前線	175	約7,300	187	約5,700	家屋全半壊・一部破損: 0戸 床上浸水: 88戸、床下浸水: 38戸
令和3年8月13日	前線	222	約6,400	255	約3,800	家屋全半壊・流失: 0戸 浸水家屋: 619戸

